資源管理型漁業推進総合対策事業調査

1．広域回遊資源：日本海北区　第Ⅰ期対象魚種（ヒラメ、マガレイ、マコガレイ、マダイ）
（抄　録）

伊　藤　欣　吾　・　原　子　　保　・　伊　藤　秀　明

目　　的

平成6年度から資源管理が開始された第Ⅰ期対象魚種について、漁獲動向を把握する。

内　　容

ヒ　ラ　メ

青森県日本海海域における近年のヒラメの漁獲量は、1993年以降増加していたが、1997年は前年比83％の136トンに減少した。特に、銘柄「小」と「小小」の小型魚の漁獲量が前年より大きく減少した。1997年のヒラメの漁獲金額は3億4,500万円で前年比83％に減少した。ヒラメの鮮魚キズなしの平均単価は1993年には3,064円／kgであったが年々安くなり、1997年は2,098円／kgであった。推定された1993～1997年のヒラメの全長組成は、雌雄とも全長約370mmに漁獲のモードがあり、全長500mm以上の大型の個体の割合が年々増加傾向にあった。

マ　ガ　レ　イ

青森県日本海海域における近年のマガレイの漁獲量は、1993年以降減少傾向であったが、1997年は前年比124％の64トンに増加した。鰺ケ沢漁協の沖合底曳網における銘柄別漁獲量の推移によると、1997年は銘柄「小」と「中」の小型魚が増加した。1997年のマガレイの漁獲金額は8,100万円で前年比120％に増加した。鰺ケ沢漁協の沖合底曳網の平均単価は1993年には1,087円／kgであったが、1994年以降安くなり1997年には855円／kgであった。推定された1993～1997年のマガレイの全長組成によると、漁獲のモードは、雄では各年とも全長約170mmにあったが、雌では1993～1994年が約180mm、1995～1996年が約220mm、1997年が約180mmと220mmにあった。

マ　コ　ガ　レ　イ

青森県日本海海域における近年のマコガレイの漁獲量は1994年に大きく減少した後は横這いであり、1997年は前年比103％の56トンであった。1997年のマコガレイの漁獲金額は6,000万円で前年比95％であった。鰺ケ沢漁協の沖合底曳網の平均単価は1993年には1,280円／kgであったが、1994年以

発表誌：平成9年度資源管理型漁業推進総合対策事業報告書．平成10年．青森県

降安くなり1997年には873円／kgであった。推定された1993～1997年のマコガレイの全長組成によると、漁獲のモードは1993年には雌雄ともに全長約130、220、280mmに山を持つ３峰型であったが、1994～1995年には280mmの単峰のみとなり、1996年以降は徐々に全長約130、220mmのモードが見えるようになった。

マ　ダ　イ（栽培資源）

青森県日本海海域における近年のタイ類（マダイとチダイ）の漁獲量は、1992年以降減少傾向にあったが、1996年に増加し、1997年は前年より少なかったものの160トンと近年では例年並であった。1997年のタイ類の漁獲量は１億４千万円であった。1992年以降の大戸瀬漁協の漁獲量を銘柄別に見ると、銘柄「Ｐ」以上（100ｇ以上）の大きさのものは横這いに推移し、「Ｐ」以下のものは1992年～1995年に減少した後、1996年に増加した。

1992年～1997年に大戸瀬漁協において、44,113個体のタイ類を観察した結果、銘柄「半２」(400ｇ) 以上の個体は全てマダイであり、小型になるに従ってマダイ率が低下していることが判明した。季節別に見ると、春季～冬季にかけて徐々にマダイ率が低下している傾向がうかがえた。また、上述の観察調査において、秋田県で標識放流された個体は発見されなかった。